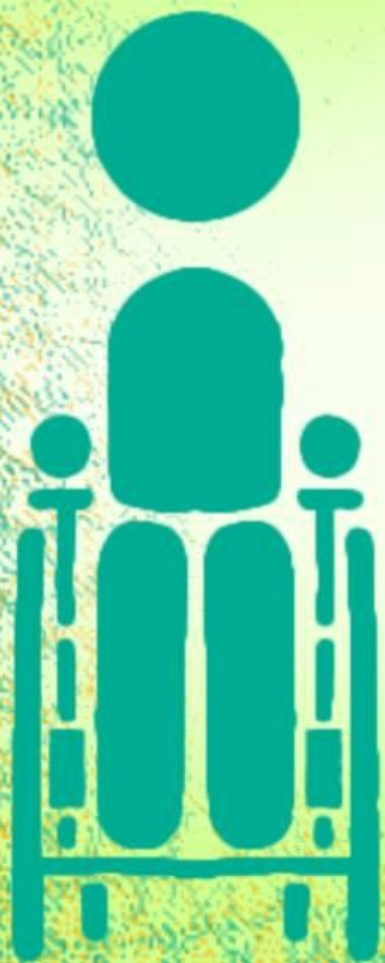




共生社会実現への  
スモールステップ！

# 1. 企画提案

コンセプト：東京 2020 大会のビジョンであった  
「共生社会」をはぐくみ、レガシーと  
して新しい時代に継承する

将来構想：誰もが助け合い、生きていける社会を  
世界中で実現する

## 2. As is (現状) ①

- ▶ 物理的にも心理的にも、共生社会が実現しているとは言えない。障がい者と健常者が同じように生活するには、社会にたくさんの障害がある
- ▶ 障がい者と健常者の見えない壁
  - 障がい者に配慮すれば損をすると考えている健常者がたくさんいる
  - 障がい者はそれを差別と捉えている

## 2. As is (現状) ②

- ▶ 【課題】 車いす利用者が、混雑時にエレベーターに乗れない、移動できない(´;ω;`)



車椅子ギャル” 「さしみちゃん」の訴え

<https://times.abema.tv/articles/-/10071175>

▶ 【原因】 日本人のエレベーター利用マナー

→ハンディキャップの有無等に関らず並んだ順に乗る

→既に乗っている人は途中で降りる必要はない

▶ 【解決の糸口】

自然に「ゆずる」仕組みの構築



# 3. To be (望ましい状態)

▶ 障がい者も健常者も民間も行政もwin-winの仕組みを構築



誰もが助け合い、生きていける社会を世界中で実現する

→ 移動弱者（車椅子、ベビーカー等）が優先的に

エレベーターに乗ることができる

→ コストをかけずに高福祉の社会へ

# 4. メインターゲット

## ▶ 公共交通機関の利用者

- バリアフリー法の対象
- 駅のエレベーターは定員が少ない
- 電車に乗り遅れると本当に困る

バリアフリー法

第7条 「**国民の責務**」

障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる支援、必要な協力をするよう努めなければならない。  
(抜粋)

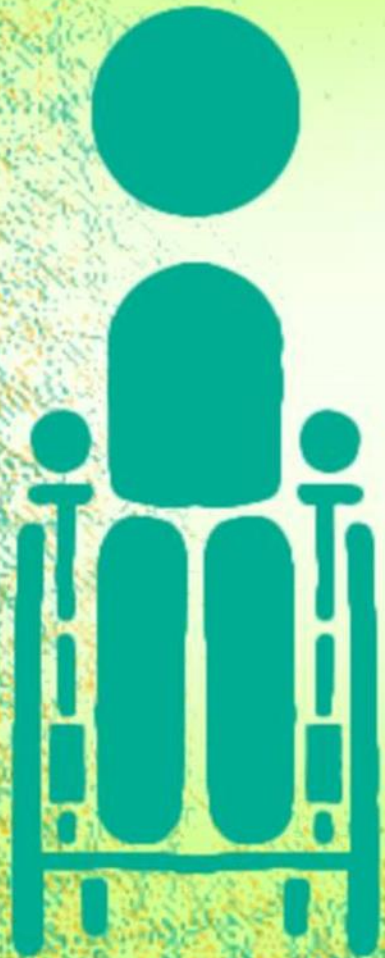
# 5. サブターゲット

## ▶ 高齢者やベビーカー利用者などの移動弱者

→ 「移動弱者がエレベーターに優先的に乗れない問題」の解決のためには、移動弱者自身が「弱者が優先される社会が良い社会」と思えるようになる必要がある

→ エレベーター前に列ができている時、僕は先頭の横に並ぶが、後方にはベビーカー利用者がいることもある

# 6. 課題解決のために



▶ エレベーター前に、わかりやすく優先表示をする

→ 「ゆずる」を「仕組み化」する

→ エレベーターを使わない人も含め、  
ゆずる「仕組み」が多くの人の目に  
留まるようにする

⇒ 「仕組み」がなくても「ゆずる」が  
当たり前

# 7. 優先表示の現状

- ・土浦駅構内のエレベータ扉近くの壁のみに注意書き有
- ・自転車利用者の為には、床面にも注意事項等を表示
- ・山手線では、床面にも優先席表示（常磐線は窓・座席のみ）

→壁面表示では不十分、床面表示の必要性が共通認識化



# 7. 課題解決のツール

## ▶ エレベーター前の床に 「優先列」を表示

### <内容>

- ・一般利用者と優先されるべき人が**並ぶ列**を別にする
- ・ドアや壁ではなく、**床面**に**表示**

※台湾鉄道での実施例



# 7. 標示ステッカーの詳細

- ・ 貼付け場所
  - 駅などの公共施設のエレベーター前の床
- ・ 高耐久床面表示ステッカー
- ・ 「優先列」を青、「一般列」を灰色
- ・ 広告表示を入れる？（広告料をもらう）

# 8. 課題解決の具体的計画

1. デザインサンプルの作成
2. 印刷会社との打合せ（仕様詳細、単価）
3. 貼り付け先への提案（コンセプト、メリット、デザイン、概算見積）
  - 県南地区の駅（JR、TX）、市役所、  
県南生涯学習センター
4. 発注・貼付けを代行する



ご清聴ありがとうございました

